

学校運営協議会 議事録

校名	府立たまがわ高等支援学校
校長名	坂田 定之

開催日時	令和5年12月12日(火) 10:00 ~ 11:35
開催場所	たまがわ高等支援学校 会議室
出席者(委員)	協議会委員6名 委員長:土口千恵子(四天王寺大学 教授) 【以下五十音順】 織田千穂(府立たまがわ高等支援学校 PTA会長) 岡本弘美(たまがわ会 会長) 酒井京子(大阪市職業リハビリテーションセンター 所長) 中村一誌(稲葉第一自治会 会長) 横塚浩一(ハウスあいファクトリー株式会社 代表取締役社長)
出席者(学校)	事務局員9名 坂田定之(校長) 今坂真悟(教頭) 吉岡宗一(事務長) 勝本玲奈(首席兼教務主任) 川島秀文(首席兼生徒指導主事) 吉村晴海(指導教諭) 高橋唯(保健主事) 中島武彦(進路指導チーフ) 渡辺歩美(地域支援部長)
傍聴者	なし
協議資料	〈資料1〉学校経営計画進捗状況、〈資料2〉学校教育自己診断集計(速報版) 〈資料3〉授業アンケート結果(速報版)、〈資料4〉進路状況について
備考	

議題等(次第順)

(1)「学校経営計画」進捗状況について (2)「学校教育自己診断」について (3)「授業アンケート」について
(4)報告事項 ①進路状況について ②学校生活について ③その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

(1)「学校経営計画」進捗状況について
11月末時点の評価の概要について、進捗が遅れているものを中心に説明。2年生職場実習の教員巡回にJ-WATの職員同行。生徒の実態把握に役立った。東大阪在住の生徒とは卒業後の支援機関との連携が早くからとれるようになってきているが、他市在住生徒との早期連携という点はまだまだである。学校全体で企業訪問数を150社以上という計画においては、データ整理中である。1人1台端末の活用に関しては11月時点で69%であり、目標の70%以上に達していないが、冬休みの宿題として今後利用を予定している教科が複数ある。アドミッションポリシーは中学生向けに分かりやすくするため意見を集約中である。教員の専門図書の閲覧数に関しては、購入図書の入荷がこれからのため、届いたらすぐに閲覧できるように配架予定。全校一斉定時退庁日の勤務に関しては勤務時間終了後60分では80%程度となっている。

(2)「学校教育自己診断」について
電子化による集約をしたことにより、生徒、保護者の回収率が大幅にアップした。一方で教員はダウンした。保護者アンケートで顕著なのは、肯定的評価「よくあてはまる」が下がっている一方で、否定的評価は減少もしくは横ばいであること。「ややあてはまる」の回答に集中している。ネット上アンケートは紙アンケートとは違い、担任を介さないの素直に回答できた可能性があるかと推察。共生推進教室の生徒の結果は、母数が少ないので一人の回答により大きくパーセンテージが変わる。共生推進教室の結果で気になるのが、「たまがわ高等支援学校に行くのが楽しい」という項目が、本校生より大幅に低いことである。

(3)「授業アンケート」について
コロナ禍が明け、各授業が大きな行事に向けての取組みにつながるものが増え、生徒も楽しく取り組めたのかも。座学の評価は低めだが、「福祉」が資格取得の授業をなくしたからか、評価が高くなった。福祉資格取得のための授業内容は難易度が高かったと思われる。各学年で共通履修の「販売」・「清掃」の評価が下がっているの、こちらは授業内容や教育課程の検討が必要かと考えている。

(4)報告事項
①進路より16期生の進路状況を説明 ②学校生活については生活支援部より説明
異性トラブル、SNSトラブル、登下校時のマナー、いじめ案件等報告
[協議]
・外部機関との連携に関して、在校生は中河内・大阪市内在住の生徒が多くを占めるとのことなので、J-WAT以外にも八尾市・大阪市の障害者就労・生活支援センターとの連携が進めば、早期からの連携対象生徒が増えるのではないかと。
・1人1台端末の活用状況は? ⇒ 各授業でタブレット端末に課題配信されたものに取り組み、提出。実技系の「体育」・「清掃」等は動画で振り返りができるので、実技での活用も増えてきた。共生推進教室の生徒には、貸出用端末がないため、スクリーニング時の活用は難しい。
・学校教育自己診断は、教員の回収率が悪いことが気になる。共生推進教室は回収率が上がってきている。まずは回答率を100%にして意見を吸い上げて検討することが必要だと思われる。(保護者が)教員を介さず提出できる無記名アンケートは有効だと思う。
・通学マナーの悪さは開校時から言われ続けている。なぜ現状ではダメなのか、「ルールだから」ではなく、なぜダメなのかを教えて守らせてほしい。ルールだからという一言で片づけられないように教員も意識されたい。
・「学校へ行くのが楽しい」(生徒)のポイントが上がっているのは非常によいこと。遅刻減少にも結びついているのか。SNSトラブルについては、企業でも新入社員教育も行っている。ぜひ計画に盛り込んで指導をお願いしたい。法改正により、法定雇用率がアップ。2年後にはさらにアップ。学校にとっては追い風。企業側は採用の確保に奮闘。学校は今後も就労を前提とした指導を強化してほしい。働き続けられるようマッチングの重要性も理解を。
・教員の働き方改革とも相まって、教員がいろいろな意見を出し合い、前年度踏襲ではない考え方をしてくださっているのが窺える。その中には、生徒や保護者の負担が減る内容もあり、意見をよく吸い上げていただいていると感じる。このように、生徒・保護者の負担が減ることで、学校に協力する意識が上がるのではないかと。

次回の会議日程

日時	令和6年3月
会場	たまがわ高等支援学校